



議会だより



Contents

- ▶ 予算審査報告 ————— P2-4
- ▶ 行政報告（3月定例会） ————— P5
- ▶ 行政執行方針等 ————— P6-7
- ▶ 一般質問（4名） ————— P8-11
- ▶ 公務災害事案に係る調査報告 ————— P12
- ▶ 審議結果（定例会・臨時会） ————— P13-15
- ▶ 議会日誌・あとがき ————— P16

活気あふれる、春のホタテ稚貝作業

会 報 告

令和4年度 予算審査特別委員会

委員長報告（要約）

予算関連議案3件、一般会計63億7700万円、特別会計と企業会計の合計33億882万7千円、総額96億8582万7000円についての審査を終了し、採決の結果「原案可決すべきものと決定いたしました。特に意見の多かつた事項について次の意見を付します。

審査意見

①公務災害の再発防止などについて
 二度と起きてはならない不幸な公務災害の再発防止に向け、早急な対応を図ること。（職員配置計画、恒久的な職員確保、人事評価制度、時間外勤務の解消、営農用水施設の管理体制の構築）

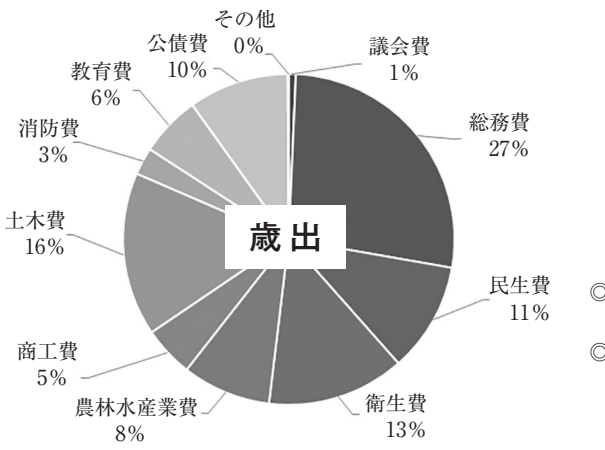
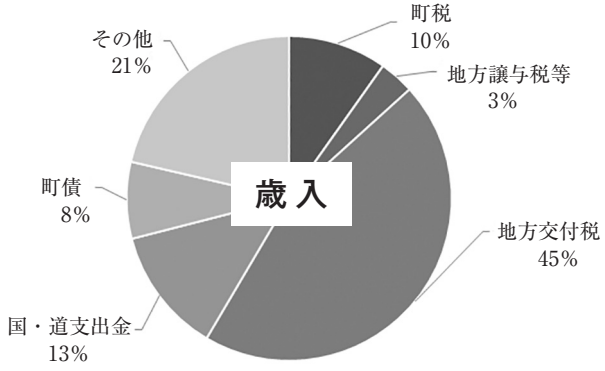
②雄武高等学校の存続対策について
 雄武高等学校存続対策協議会での積極的な議論を深め、政策に反映されたい。（上級学校への進学のための教育課程、応用学力向上のための総合的な施策展開）

③雄武町国民健康保険病院の今後のあり方について
 国保病院は自治体直営病院として必要不可欠なものだが、一般会計から多額の繰入を受けており、健全経営までには至っていない。今後国の地域医療構想の動向を注視しながら、診療形態のあり方、救急指定のあり方など町民の意見も踏まえ対応策を検討されたい。

令和4年3月18日

予算審査特別委員会
 委員長 長野 誠

令和4年度 一般会計 63億7700万円の内訳



令和4年度 各会計の当初予算

会計名	予算額	伸び率
一般会計	63億7,700万円	8.4%
特別会計	国民健康保険	7億1,426万円 △1.4%
	簡易水道	7,497万円 0.2%
	公共下水道	5億2,762万円 4.5%
	介護保険	4,457万円 △15.2%
	介護サービス	1億5,317万円 △4.1%
	後期高齢者医療	3億1,299万円 △11.8%
	介護老人保健施設	6億282万円 48.1%
国民健康保険病院事業会計(※)	8億7,843万円 11.6%	
合計	96億8,583万円	8.2%

※企業会計（国民健康保険病院事業会計）の額は収益的支出と資本的支出の合計額

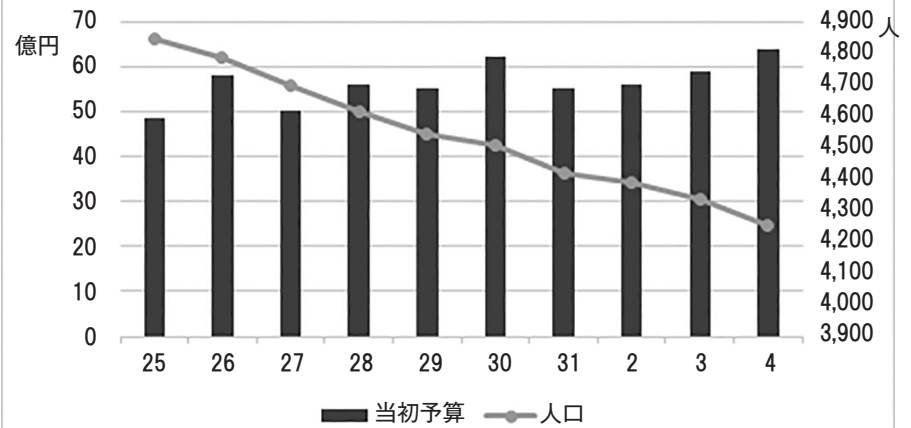
- 一般会計……町税、地方交付税、国庫補助金など税金をおもな収入源として町民に関わる経費を賄う会計
- 特別会計……水道や下水道、国民健康保険など利益を受ける人たちがそれに関わる経費を負担する会計

春の定例

3月8～18日（11日間）の内容

- 行政報告（町長）
- 行政事務報告（副町長）
- 教育行政報告（教育長）
- 各会計補正予算9件
- 条例制定・改正9件
- その他議案2件
- 町行政執行方針
- 教育行政執行方針
- 令和4年度各会計予算9件
- 令和4年度予算関連議案3件
※上記2件一括上程
- 一般質問（4名）
- 予算審査特別委員会（2日間）
- 予算審査特別委員長報告

一般会計当初予算と人口の推移



※少子化と高齢化が急速に進む日本は先進国に先がけ「人口減少時代」に突入しています。我が町の人口減少もその現れであると考えられますが、一方、公共サービスの細分化と増加、公共施設の老朽化対策や社会保障関係経費の増加などのため、一般会計予算は年々増加していると分析できます。

予算審査にかかる質疑応答

Q柳原 スポーツセンターの午前中利用を希望する声がある。

A教育振興課長 以前は午前10時から開館していたが、利用者が少なくなり短縮した。ニーズが高くなるなら検討する。

Q金田 図書購入には外国語図書は含まれているか。

A図書業務係長 中国語古典図書購入を予定している。今後はニーズを見ながら検討する。

Q嶋村 まちづくりアンケートで窓口が暗いというコメントがある。職員のサービス精神、町民が心地よくなる工夫や役場全体の意識改革を。

A住民生活課長 暗い、挨拶ができていないとの指摘は残念。積極的に声かけを行いたい。カウンターは物理的に暗い。明るい窓口づくりを意識して考えていきたい。

Q遠藤 雄武高校卒業生奨学金の内訳は。

A教育振興課長 生徒27名分（令和元年度8名、令和2年度3名、令和3年度16名）。

Q遠藤 トレーニング機器の内訳は。トレーニング機器は高校生など利用者の声を反映しているのか。

A教育振興課長補佐 ランニングマシン2台、コードレスバイク2台、ベンチプレス、ダンベル等のほか、コンビネーションマシン1台についてはスポーツ振興くじからの助成を申請する予定。機器はスポーツ推進委員の声を聞いて選定した。

Q溝田 ピヤシリ線林道復旧、方向性はきちんとしているのか。

A産業振興課長補佐 北海道とも協議し、廃道は難しく、2千万円程度で工事可能との助言もあり、復旧工事に向けて設計委託を行う。

Q嶋村 ふるさと納税サイトの数は。新たな商品開発は。

A財務係長 サイトは4つ（チョイス、楽天、さとふる、ANA）、商品開発は観光協会や加工協と打ち合わせしている。食肉については農協やエコープと調整しているが上手く噛み合わない。

Q佐藤 ふるさと納税、いい感じで進んでいる。印象と現状を伺いたい。また食肉の「噛み合わない」という表現の説明を。

A財政係長 拡充してから非常に順調。サイト増設効果か。3億を超えて事務も増加、打ち合わせもできない状況。一括代行させて打ち合わせや開発時間の確保を行い、寄附増加につなげたい。「噛み合わない」とはエコープの食肉の捌き手が少ないことや、発送直前で食肉加工を行いたい店舗優先の業務となってしまうため、現状維持となっていることを指すもの。

Q柳原 時間外勤務を減らす考えの中、起きている原因を究明せず残業代を増やす経緯は。会計年度任用職員に頼ることも多い、地域おこし協力隊に手を挙げていない。外部委託の検討をしてはどうか。

A総務課長 時間外は実績に近い額に。兼務解消や業務量の平準化も。環境改善に取り組み、常に良いものを取り入れる。

Q柳原 毛ガニ養殖の内容は。

A水産係長 毛ガニの生態ははっきりしないことが多い。抱卵雌ガニの観察データを蓄積し、9年を目途として産卵・ふ化のメカニズムを解析する。費用は管内の沿岸自治体・漁協のほか、道の補助を受け、初年度の令和4年度には畜養施設を整備する。

Q嶋村 アグリファームは3つの公共牧場の指定管理を受けており、事務所など50年以上が経ち古い。施設の新設等の今後の展開は。この事業は地元負担が25%発生するが、負担区分はどうなっているか。

A農地整備係長 当初要望は680haだったが、1年あたりの作業量が決まっていることから2回に分けた。道とも協議のうえ、草地改良を優先している。令和8年までは計画済、令和9年以降は別途計画する。町が25%を全部負担、施設修繕についてはアグリファームが今後負担していく。

Q遠藤 不要な人工魚礁の撤去、内容は。

A水産係長 平成19年からのホタテ漁場の沖出しで大量の人工魚礁が支障となった。平成27～30年で374基を撤去している。令和4年は魚田沖で100基を引き上げる予定。

Q柳原 一時預かり料0～2歳が同額となる理由は。幼児の完全無料化はできないのか。キャパは。

A保育所長 法律で徴収可能とされている。保育料は所得に応じて9月に積算するため見込みが立たない。預かり料を自治体が負担することは可能だが、保育所の面積が全員受け入れる要件になっておらず、出生数20人としても0～2歳希望者全員が入所することはできない。

Q遠藤 水道管路台帳システムの内容は。

A上下水道課長 紙ベースをデータ化するもの。仕切弁の一夜管路の管径や延長、深さ等の台帳整備。発注は札幌のコンサルタント業者を予定している。年度内に完了予定。

行政報告(石井町長)

◎バイオマス産業都市の認定について

家畜かん尿処理対策を町の最重要課題と位置づけバイオマス産業都市構想の策定に至った。計画しているバイオガスパラントは15戸の酪農家に参加予定。搾乳牛換算で2245頭規模のふん尿処理を行う集中プラントを雄武町の北雄武地区に建設する計画。

◎遠隔地通院者への二ス調査について

有効回収率 83・1%

◎新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策本部会議31回(1月13日)～36回(3月4日)

◎公務災害事案に係る調査報告書概要について

4ページにわたる調査報告書概要を朗読説明。

※詳細は12ページに記載

教育行政報告(豊田教育長)

◎北海道雄武高等学校入学者選抜学力検査について

雄武高等学校への出願者は22人、全員が雄武中学校からの出願。

◎豊丘小学校の閉校式挙行について

開催日 2月27日
出席者 80人

行政報告等に対する質疑応答

Q溝田 町税等の収納率について。前年度比マイナス1.63ポイントの分析を行っているか。

A税財管理課長 要因としては、今まで分納していた方の一部滞りがある。町民税では納付書を例年6月に送付しているが、その前に転出される方がおり、そのまま連絡が取れなくなるケースが多々ある。

Q遠藤 教育行政報告について。閉校後の備品等を町民の方に還元する考えは。教職員の住宅等の活用見込みは。

A教育長 豊丘小学校の備品の整理は来年度必要なものを各学校に配分して進める。今後役場が持っている施設等で使う予定がない場合、無料かお金をいただくかは決めてないがそういったことも考えていきたい。教員住宅はまだ足りない状況と認識。そのまま教員住宅として使用する予定。

Q柳原 備品購入費でスクールバスの購入額が非常に安くなっている。予算と比較し多額の乖離が起きたのはなぜか。

A教育振興課長 委託会社と協議の上、仕様を見直した。必要なオプションが付く車種のグレードは1ランク下のグレードでないとそのオプションが付かないということと、入札の執行残が減額の理由。



Q柳原 今回の条例改正で分割された保健福祉課以外に、町としてそれ以外の部分の再構築を考えているか。

A総務課長 年末に副町長と私で各課の管理職とヒアリングを実施し、次年度以降の組織体制について協議を行った。昨年実施の際、保健福祉課の分割の話が出てきた。他の課でも係員の人数が不足しているため補充が必要といった意見もあったが、課の分割や統合の意見はなかったため、今回は保健福祉課のみ行った。

Q長野 課設置条例の改正、本来であれば3月2日の議会全員協議会で説明すべきではないか。

A総務課長 今後、課設置条例が改正するような場合などについては議会とも協議をし、必要に応じて事前に説明したい。

Q嶋村 中山間地域直接支払交付金が約2千万円減額になった理由は。

A産業振興課長 農家の方々の所得超過者が増加したため(令和2年度が6件、令和3年度が12件)約1459ha、2千万円の減額となった。

Q長野 町長は職員に対する指示として「挑戦`挑戦なくして成功なし。」「原点回帰`公務員としての原点に立ち返る。」また「町民との協働`町民と行政の真の「協働」の実現。」と述べているが、具体的な説明を。

A町長 挑戦とは前に進むということ、原点回帰とは立ち止まって原点に返って町民や町政をどう考えていくかということ。町民との協働とは、協働するという心構えも非常に必要ということ。今年は特に原点に戻って、町民との協働をもう一度考えていってほしい。

Q長野 子どもたちの国際交流について、グローバル人材育成を図ることとは。また ICT 機器の有効活用に努めるとあるが、学校においてタブレット活用がなされていないようだ。

A町長 例えばタブレットを使っての英語の授業等で海外との交流を考えている。しかし基礎的な勉強がきちんとできていないとグローバルな人材を育ててはいけなさと考えている。人を育て、つなげていくということが非常に必要であると考えている。

A教育長 タブレットに関して。GIGA スクール自体、2年ほど前倒しして行うことになったが、その準備ができていなかったというのも事実である。インフラ整備も完全ではない状態。合わせて研修や教師の意識改革が一番必要だと考える。町長には今の教育の状態をきちんと理解していただき、予算等もすり合わせを行っている。

提言長野 これからの町政は、足並みを早くして、職員一同、皆一体となり、ワンチームとなって進めていっていただきたい。



Q溝田 GIGA スクール構想によるタブレットを使っての学習に関して、特に英語に関しては学力を上げていかななくてはいけないとのこと。雄武には素晴らしい人材がたくさんおられる。課をまたいでの人材、地域おこし協力隊の方など教育ということに関しては求めてもよいのでは。

A教育長 英語は非常に余裕のない授業状態だと認識している。いくら高度な教育を受けても生徒自身が英語に興味を持たないと、また必要性を感じないと絶対覚ええないと思う。今の話は参考にさせてもらい、学校とも考えていきたい。

Q溝田 情報通信の整備と充実に関して。カバーエリアにも留意するとあるが、上幌内地区においては消防防災体制、特に救急車の要請やJアラートも届かない。国、道にも要請しているようだが、その後の進展は。

A総務課長 携帯のカバーエリアの拡大については管内共通の課題となっている。オホーツク圏活性化期成会（※1）や西紋別地区総合開発期成会（※1）を通じて国や道に働きかけている。情報によると現在、上幌内地区に携帯会社4社で共同アンテナの建設が計画されている。町に対しても土地を貸して欲しいという要望がこれから来る予定。近々、上幌内地区に鉄塔が建つのではないかとと思われる。

※1 期成会

物事を「成」しとげようと強く「期」する（期待する）会のことです。

【オホーツク圏活性化期成会】はオホーツク総合振興局管内の各市町村、【西紋別地区総合開発期成会】は西紋別地区5市町村が参加しています。

それぞれの市町村長と議長が集まり、管内の課題や問題点を北海道や国に要望する活動を行っています。

行政執行方針 石井 町長 教育行政

Q佐藤 水産業の振興について。雄武町の育てる漁業とは。

A町長 鮭やナマコ等の他、今年度から漁協、道がオホーツク管内において毛ガニの増養殖事業として協議会を立ち上げ、町としても費用を負担していきたい。

Q佐藤 GIGA スクール構想という文科省が立ち上げたものに教育委員会も翻弄されてると思うが、もっとアナログでやってもいいのではないか。

A教育長 賛成。全てデジタルが正しいのではなく、今までの伝統的なものもきちんと組み合わせハイブリッドでやっていけば、私は絶対良い道ができると思うので、もっと研究していきたい。

Q佐藤 高校のタブレットをもう少し柔軟に使えるような環境に整えては。

A教育長 タブレット等の持ち出しの関係については、私自身は自由に使わせてあげてとお願いしている。ただ、まだルールができておらず、セキュリティポリシー（※2）を作成中とのこと。今後、加速度的に使わせたいと思っている。

※2 セキュリティポリシー

「情報の安全を守るためにはどうしたらいいか」を定めたルールです。

インターネットなどを悪用した外部からのサイバー攻撃に備えたり、パソコンの置き忘れやUSBフラッシュメモリを紛失したりと、いつどのようなときに「情報」が危険にさらされるかわかりません。

そんな時に大切な情報が漏洩するのを防ぎ、被害を最小限に抑えりする決まりが「セキュリティポリシー」です。



Q遠藤 スマートフォンに関して。住民のスマホの保有率をアンケート調査等で調べることはできるのか。それにより、町からの新しい情報発信方法が見出せるのでは。

A総務課長 町では毎年10月に雄武町基本調査を行っている。基本調査と一緒に実施することは可能かと思う。

Q柳原 災害備蓄倉庫が完成した。WOTA（※3）シャワーの購入は。

A住民生活課長 シャワー設備は補助金を活用しても高価。災害時には自衛隊の入浴支援やホテル日の出岬への送迎を考えている。

Q柳原 図書館の多目的室の使用について、予約はできないのか。

A教育振興課長 多目的室の使用は基本的には、どなたでも利用できるという部屋。近くに予約できる町民センターがあるので使っていただきたい。

Q柳原 お役所言葉や横文字が多く感じている。改善は。

A総務課長 町から発する町民向けの文書については、基本的には簡易で伝わりやすいようにと意識して作成しているが、横文字も多々出てくる。今後は注意書きを入れるような配慮をしていきたい。

※3 WOTA

最先端の水処理の自律制御技術によって一度使った水の98%以上をその場で再生して循環利用する、人にも環境にも優しいテクノロジーです。

持ち運べるほど小さな機械で、災害時など水道へのアクセスが困難な場所でも、水を自由に使えるシステムです。

公務災害発生から6年、遺族に対しての思いは

心よりお詫び申し上げ、遺族に寄り添っていききたい（町長）

公務災害認定に係る第三者調査報告について

— 公務災害発生から、札幌高等裁判所の公務災害認定判決に至る経過の説明を。

総務課長 平成27年12月9日、職員が命を落とす大変残念な事故が発生。翌年9月6日遺族が公務災害認定申請、29年7月12日公務災害不認定、30年9月処分取り消し提訴、令和3年1月請求棄却判決、遺族同月控訴、9月7日逆転判決、9月22日判決確定。

— 公務災害発生後6年間、町は裁判中を理由に事実関係を明らかにする行動は取っておりません。遺族の方が孤独な裁判を続けた結果、勝訴を勝ち取ったわけです。町として第三者による調査に取り組むことになりましたが、遺族に対しての思いを伺います。

町長 6年間長かったということ、心よりお詫びを申し上げたいと思います。今後は遺族に寄り添っていききたいと考えております。

— 報告書では平均的な労働者を基準として業務内容、人員配置、労働時間その他を考慮した場合、南氏の従事していた業務は強度の心理的負荷を生じさせ得るものであったと認められ、業務によって気分（感情）障害を発症し自死に至っており、業務に起因するものであると認めざるを得ない、また、南氏の業務が過重な状況にあったことは町として認識してしかるべきであり、町には安全配慮義務違反があったと認めざるを得ないと結論つけています。当時の雄武町庁舎内できかに前近代的な労働慣行がまかり通っていたかはつきりしたと思いません。今後、報告書の内容を町全体で情報共有することが再

発防止に必要と考えるが。

町長 当然ですね、情報共有しながら、今後の労働環境の改善について考えていきたい。

雄武町営農用水の管理運営について

— 雄武町には5か所の営農用水があり、その施設の維持管理は地域ごとに組織された受益者の組合に委託して行うと町の管理規定に定めてい

ます。この度の公務災害の発生要因に、営農用水への昼夜を問わない警報対応が指摘されています。管理規則では受益者の組合が維持管理を行うと定めているのに、なぜ現場職員が警報対応を行うのか。

産業振興課長 営農用水施設が以前と比較すると複雑化しており、処理方式に対処するため産業振興課が対応している。

町長 当然です、情報共有しながら、今後の労働環境の改善について考えていきたい。

— 町の管理規則と対応が矛盾していると思うが。

産業振興課長 公務災害調査報告書でも指摘されておりますので、副町長をトップとした営農用水に関する調査検討チームを設置し、業務委託、町職員の対応、利用組合の対応等、利用組合と協議しながら考えていきたい。

文教地区再編整備計画について

— 文教地区再編整備計画について伺います。町長、教育長協議でロードマップを決めて早期に取り組むべきでは。



しまむら 鳴村 よしふみ 義文 議員

教育長 文教地区の整備の優先順位を小中学校と考えており、これを起点にスポーツセンター等社会教育施設も含め、全体構想を立てたいと考えている。4年度中に基本構想の策定作業に着手する考え。

※その他、行政執行方針の地域おこし協力隊、日の出岬エリアの観光開発、今後の国保病院運営、住環境の整備、民間住宅、古くなった職員住宅の整備等の町の考えを伺いました。

救急搬送について

— 救急の疾患が深刻な場合、国保病院を經由せず広域紋別病院や名寄市立病院へ転送することは可能か。

総務課長 基本は国保病院に搬送する。医師の判断で処置困難な場合、医療体制の整っている二次救急医療機関の担当医に連絡し搬送する。例外もあり、二次救急医療機関が必要と判断した場合、現場から直接搬送を行う。重症傷病者についてはドクターヘリやドクターカーで対応する。

老健ハマナスについて

— 老健ハマナスの職員数が不足し無理を強いている状態。職員の不足人数は。

老人保健施設事務長 現状の職員数は基準を満たしているが、あくまでも基準は基準。夜勤面での介護職員の負担が

大きい。老健ハマナスの介護職員が会計年度任用職員なので、正規の職員で募集する施設と比較して（待遇面において）選択されにくい面もある。

エssenシャルワーカーの賃金アップについて

— 岸田内閣の「新しい資本主義の実現」の中で、看護師、介護士、保育士などの賃金アップが2022年2月より実施されることになったが、町内の対応は。

総務課長 町職員については看護師、介護士、保育士ともに給料の引上げは行わなかった。近隣町村（興部、滝上、西興部）も同様の対応。

— 雄武町の介護職と大きな給与の差があるため、介護職員募集してまずよと言っても来る訳がない。今の募集体系を今後も続けていくのか。

総務課長 老健職員が会計年度任用職員なので、給料面での他の施設等と比べると差があり応募されない状況。近隣市町村の状況を把握し正職員化も考慮していかなければいけない。

運動施設について

— 新しいスポーツセンターの建設は多くの町民の方が熱望しているが、中川原町政も石井町政もその熱量が低い。「文教地区基本構想策定事業」という大枠の中に収まり、それが進まないため具体的な写真が出てこない。町長の考えは。

町長 文教地区構想の中に入ってなかなか進んでいないと認識。令和4年度の総合計画後期計画の審議会でのいろいろ検討していただく。

— 豊丘小学校はまだ十分使える印象。具体案を早急に出

し、ない袖は振れないから、豊丘小学校をリビルドし、スポーツセンターの補助施設にするという提案を町民に提示すれば理解が進むのでは。

教育長 旧豊丘小の体育館は町民に開放することは問題ないし、議論しているのでその可能性は高い。

町長 スポーツセンターの代替え、つまりサブ的な役割として町民に開放できるものは開放していきたい。

児童の運動時のマスク着用について

— 知人の小学校教員に確認したが、児童が走る時にはマスクを外すという認識。文科省、スポーツ庁、道教委からの指示も同

様だと思っが、教育委員会の考えは。

教育長 全く同じ。各校長に対して、マニュアルや指示事項に基づいて学校運営や体育運営をするようにという指示を出している。

— 若草保育所の運動時マスク着用の考え方は。

保育所長 厚労省から自治体への保育所での児童へのマスクの着用についての具体的な指示があった。それ以降、その指示に基づき対応。

小中学校における高速大容量のネットワークの環境整備は

通信が不安定で運用上のトラブルが発生、問題点の改善を現在進めている（教育総務課長）



さとう やすし 議員
佐藤 寧

← 次は一般質問

まちづくりアンケート、自由意見で印象に残ったのは

住宅料が高いという意見（町長）

第6期雄武町総合計画後期基本計画策定のためのまちづくりアンケートの調査結果報告書について

—— 今回の調査結果は有効回答数が452、回収率は30・1%。

今後もしも住み続けたいという方が74・8%おられるが、10代、20代では住み続けたいと答えられる方が5割を下回った。転出したい理由として、町に愛着を持っていないことが第3位にランキングされており、大変ショックを受けた。町長はどういった取り組みが必要とお考えか。

や地域の課題解決に貢献する人材を育成するために地域リーダー育成プロジェクトを行っている。こういった事例については、どのようにお考えか。

町長 地域リーダーの関係だが、私も人を育てていくことが非常に必要で今後進めていきたいと考えている。

—— 町長は今回のまちづくりアンケートの自由意見に目を通して印象に残ったものは。

町長 住宅料が高いという意見。

町長 中学生、高校生などに意見が聞ける場があれば参考にしたい。

—— 高校の魅力づくりとして、静岡県牧之原市では2015年から首長部局が主導して、市内の県立高校と地域が連携し、地域将来を担う人材

—— 今回のまちづくりアンケートの自由意見を、「すぐに対応できる項目」と「時間がかかるが取り組んでいきたい項目」に振り分け、所管課で検討した上、今後の見通しについて町民の方に対して広報紙等を通じてお知らせする考えはないか。

財務企画課長 自由意見は今回120件ほどの意見をいただいた。まちづくりアンケートの調査結果は、今後組織する総合計画策定審議会委員にも配付し、町民の意見やニーズをもとに今後、審議していただき、後期基本計画や実施計画を策定することを考えている。今の時点で所管課での判断は、これからの議論に影響を与える可能性があるため自由意見の今後の見通しの公表は現在行わない方向。なお、まちづくりアンケート調査結果報告書については、3月7日に町公式ホームページで町民に公表している。

遠隔地通院者へのニーズ調査について

—— 遠隔地通院者へのニーズ調査が実施され、配布数は1873、回答数は1653、有効回収率は83・1%であった。町民の皆様にとり非常に

関心が高いものであったことが推察される。町長はこの調査結果を受けて、現在のお考えは。

町長 今回の調査でニーズ把握ができたと感じている。今後は詳しく分析を行い進めていく。今後の公共交通について重要だと思っ新たな交通施策を聞いたところ、ハイヤー代の助成や、巡回デマンドバスが続いた。自由意見においては前向きに、かつ客観的目標で意見が多く、今後の検討課題としていきたい。

※そのほかにLINEを活用した行政情報、防災情報の発信について、コロナ禍において保健福祉課が非常に多忙になった中で遠隔地通院者へのニーズ調査を担当課を変えて取り組む考えに至らなかったのか。国道238号の川尻地区における雄武川付近の危険箇所についての対策について伺った。



えんどう ゆうこ 遠藤 友宇子 議員

公約に掲げた高校存続対策について

町長は雄武高校存続対策を町長選において政争の具にできなかったか。

町長 議員時代から質問しており継続してやっている。

2年間20名を切ると廃校になると2年前答弁し奨学金条例を可決させたが、道教委の2年間20名を切ると廃校になるのを、いつ、だから聞いて認識したか。

町長 高校の担当者か町議会から当時聞いたと思うがその記憶は定かでない。

議員時代に10名で廃校になると町長は質問している。10名と20名では大きく違う。2年前の答弁は虚偽答弁ではないか。

町長 当時自分で聞いているのは2年間20名以下で、虚偽答弁はしていない。

重要な事なのでもう一度聞か、誰から2年間20名切ったら廃校と聞いたか。

町長 誰とははっきり今も覚えていない。

第6期雄武町総合計画について

総合計画を毎年ローリングで見直しているが、全く変わってしまったのは最上位計画の意義が薄れないか。

財務企画課長 前期後期計画と同時に5年間の年次計画を策定しており、既存施策の転換や町民ニーズの変化により、ローリングによる事業の見直しは極めて重要な作業である。

組織改革による活性化等について

保健福祉課の分割理由と他の課について、今、どのように考えているか。

総務課長 新型コロナウイルス感染症対策の長期化や保健福祉課長から意見があり、町長等で協議し再編が必要と判断した。その他の課は職場環境や業務の進捗状況を把握し、適切な人員配置をしていきたい。

第三者機関からの意見を踏まえて再発防止策が出てきたが現実的ではない。真剣に検討し早急に対応するべきではないか。

総務課長 副町長をトップとし、関連メンバーを入れて調査検討チームを立ち上げた。今後議論を重ねあまり時間をかけずに結論を出していきたい。

高速医療バスの検討状況について

高速医療バスについて、これまでの検討経過は。

町長 コロナ対応を優先させたため業務が遅れたのは事実である。今回のアンケートによりニーズを把握し分析したい。

政策をやるにはいつまでにやるという期限を守ることは大切かと思うが、どのような認識をお持ちか。

町長 期限を決めてであれば期限を守るのは当然である。決められないものは検討するという話で諸事情があり決められない部分もあり、ご理解いただきたい。

過去の質問について

昨年3月にも質問したが町長は入札の金額を知っているということが良いか。

町長 入札書は私が自筆で予定価格を書くが、件数が多いので全部知っているというのは無理である。

石井測量設計が雄武町の測量関係に入札業者として入っている。自分の会社は印象に残るのでは。

町長 自分の会社ではない。役員も何もしていないので一切関わっていない。

高校存続基準10名と20名では大きく違う。虚偽答弁では

当時自分で聞いたのは20名、虚偽答弁はしていない(町長)



やなぎはら ひろゆき
柳原 浩之 議員

公務災害事案に係る調査報告（要旨）

令和4年2月7日、議会全
員協議会で町より調査報告の
提出がありました。また3月
定例会では町長から行政報告
として調査報告書の概要説明
がありました。

（調査実施者） 弁護士法人
佐々木総合法律事務所

調査内容

- ① 本件自死に関する原因調査
及び本件自死に係る町の
責任の有無
- ② 同種事件の再発防止策

検討の対象資料

- ① 裁判記録
- ② 公務災害に関する資料
- ③ 副町長ほか職員14名の関係
者に対するヒアリング

主な供述要旨

- ① 産業振興課農務係は非常に
業務量が多い部署である
にも拘わらず、平成27年
4月に行われた総入れ替
えによって未経験者だけ
での業務開始となった。
- ② 残務整理と営農用水の警報
対応で、9月22日～10月
24日までの間は33日間連
続勤務を行っており、9
月25日～10月24日までの
30日間で時間外勤務数は
109時間25分に及んだ。
- ③ 営農用水の警報対応につい
ては、前任係長が不眠を
訴え異動の申し出を行っ
た経緯があり、営農用水
に異常があると夜中でも
警報対応で現地に行かな
ければならず、精神的な
負担となっていた。

認定事実

- ① 農務係の業務量は、通常の
部署での業務引継ぎが半
日程度であることに対し、
平成27年4月の業務引継
ぎが1日半もかかる膨大
な量であった。
- ② 平成27年度の業務量は通常
業務の残務整理に追われ
午後8～9時頃までの残
業が慢性化していた。
- ③ 残務整理は時間外勤務の対
象外という雰囲気があっ
た。定時で帰れないのは
能力の問題という考えが
庁舎内に蔓延していた。
- ④ 通常業務に加え営農用水の
警報対応で忙殺されてい
る時期に、固定資産台帳
作成の督促をされ、追い
詰められていた。

結論

南氏の本件自死について、
業務起因性が認められること
はもとより、町の法的責任(安
全配慮義務違反)も認めざる
を得ないと考える。

このため、町は南氏の遺族
に対し逸失利益等適正な損害
賠償義務を負うことになる。
なお、責任を負うべき主体
はあくまで町であり、町の関
係者が個人として賠償責任を
負うことにはならない。

再発防止策

- ① 農務係・農地整備係の業務・
人員配置の見直し
- ② 時間外勤務管理の見直し
- ③ 営農用水警報対応体制の見
直し
- ④ 日常的なメンタルヘルスケア
の実施

※この要旨は調査報告書を
一部抜粋したものです。
詳細を確認したい方は町
に情報公開請求をすること
で全文を確認できます。



補正予算（一般会計補正予算（第15号））

【主な内容】

- ・住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金 **6620万円**
- ・雄武高等学校 **1人あたり10万円 ※卒業生のうち就業者10名分**
卒業生新生活応援給付金 **100万円**

2月 臨時会 審議結果

質疑応答

Q柳原 高校存続への具体的な案は。

A町長 存続対策協議会や高校とも協議して公設塾やボランティア等の取り組みについて話し合う。また今後、海外と姉妹都市提携などを考え、子どもたちのグローバル化を図りながら、雄武高校を魅力ある高校にしていきたい。

Q遠藤 高校存続に関連し、入学者を増やしたいのであれば母数を増やすため人口減少対策により力を入れるべきでは。例えば移住政策について町長はどのようにお考えか。

A町長 移住対策は都市の子ども達・大人達の交流も含め、関係人口を増やすことから取り組みたい。体験型交流を日の出岬ホテルとも連携し進めたい。

Q柳原 雄武高校卒業生新生活応援給付金についての算定根拠は。

A教育長 2年前は町として就業者への給付は一切考えていなかった。その後、色々な意見や要望が多く、町長の指示もあったことから就業者への給付を検討した。その中でお祝い金の意味で2~3万円程度という議論もあったが、就職に必要な物をそろえると最低10万円はかかるだろうということで、その金額にした。
また、町の財政が厳しくなっても持続可能な金額であるため、このように判断した。



【修正案提出】

発議者：柳原 遠藤

1人あたり10万円を36万円に

◎雄武高等学校卒業生新生活応援給付金…100万円→360万円に増額(260万円増)
算定根拠が不明確である。高校存続対策を真剣に取り組んでいただきたい思いから増額を要望する。

○ 修正案に賛成 ○

◇遠藤…算定根拠に納得できない。
地元に残る若者をもっと
支援して欲しい。

討 論

✕ 修正案に反対 ✕

◇嶋村…公平性を担保する予算としては1人10万円が妥当。
◇佐藤…最大10万円はお祝い金としては適切、存続対策は具体案を。

【修正案採決】 賛成4（柳原、金田、遠藤、長野） 反対4（佐藤、溝田、嶋村、福原）→議長裁決→

○ 原案に賛成 ○

◇佐藤…お金を使った対策はひとまず完成、具体的な存続対策案は我々にも明示を。

討 論

✕ 原案に反対 ✕

◇柳原…今回の10万円の経済的支援が高校存続対策になるか疑問。
抜本的な改革を。

1人あたり10万円

【原案採決】 賛成4（佐藤、溝田、嶋村、福原） 反対4（柳原、金田、遠藤、長野）→議長裁決→



← 次は3月定例会審議結果

課設置条例の一部改正

- ・保健福祉課を福祉給付課、健康推進課に分割する。



Q 柳原 課設置条例が制定されたが、保健福祉課以外の再構築は。

A 総務課長 年末に副町長を交えて人事協議を行った。係員の補充案はあったが分割案は特になかった。

Q 長野 3月に全員協議会が開催されているのに、なぜ説明がなかったのか。本来であれば事前に説明すべきでは。

A 総務課長 昨年度の建設水道課分割の際に全員協議会にはからなかったのが同様とした。今後は議会とも協議し、事前に説明していく。

3月 定例会 審議結果

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- ・非常勤職員の育児休業・部分休業の取得要件を緩和する。



Q 遠藤 今回の改正案に該当する会計年度任用職員は特定できているのか。

A 総務課長 育児休業は妊娠したことを伝える必要があり把握できるが、介護などは申し出をしてもらう必要があり、把握は難しい。分かりやすいパンフレット等を作成し、制度の活用を促したい。

4月臨時会 緊急質問

◎国保病院常勤内科医師の退職について

(嶋村議員)

1. 常勤内科医師の退職に至る経過の誠意ある説明
2. 5月以降の勤務継続実現への努力要請

【採決】

賛成 3 (佐藤、嶋村、福原)

反対 4 (柳原、金田、遠藤、長野)



緊急質問って？

議長に通告していなくても、本会議で他の議員の同意を得ることで行うことができる質問です。その内容は

- ・災害や突発的な出来事などで即刻質問する必要がある場合
- ・質問する客観的な理由が認められる場合

に限られます。

意見を述べることも可能です。

補正予算 審議結果まとめ

【2月臨時】 令和3年度一般会計

(5362万円追加) 総額 69億 7476万 9千円

- ・子育て世帯への臨時特別給付金、家庭用電気機械器具等購入ほか

【3月定例】 令和3年度一般会計

(2955万円減額) 総額 69億 4521万 9千円

- ・元沢木海岸線道路整備工事ほか

※その他8件

【4月臨時】 令和3年度一般会計

(2039万9千円追加) 総額 69億 6561万 8千円

- ・除雪業務委託料ほか

※その他1件



4月臨時会 審議結果

工事請負契約

◎勤労者住宅建設工事（建築主体）

(株)大和建设（雄武町）

代表取締役 石山 泰一

- ・契約金額 5423万円

◎雄武斎場火葬炉入れ替え工事（炉更新）

宮本工業所（富山県富山市）

代表取締役 宮本 芳樹

- ・契約金額 1億 2633万 5千円



その他の採決結果

3 月 定 例	漁業振興基金条例の制定 安定的な漁業の推進に向けた基金を制定する。	可決（異議なし）
	行政手続等における押印等の見直しに伴う関係条例の整備 住民の利便性の向上および負担軽減を目的とし、手続きの際の押印が一部不要になる。	可決（異議なし）
	議会委員会条例の一部改正 課の名称変更（保健福祉課が健康推進課と福祉給付課に変わる）。	可決（異議なし）
	交通指導員設置条例の一部改正 雄武・沢木・幌内にある指導支部に魚田を追加配置する。	可決（異議なし）
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 同基準の改正に伴うもの。	可決（異議なし）
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 同基準の改正に伴うもの。	可決（異議なし）
	町道の認定 ポンオコツナイ2号線、旭日公園4号線を追加。	可決（異議なし）
	オホーツク町村公平委員会規約の変更 運営経費の負担を一部変更する。	可決（異議なし）
	オホーツク町村公平委員会委員の選任 任期満了に伴うもの。	同意（異議なし）
	議会会議規則の一部改正 欠席届出、請願書の記載事項の取り扱いの一部変更。	可決（異議なし）
4 月 臨 時	専決処分報告（税賦課徴収条例等の一部改正） 地方税法等の一部改正による。	可決（異議なし）
	国民健康保険税条例の一部改正 国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行と、税負担の適正化を図るもの。	可決（異議なし）

賛否が分かれた議案

議員ごとの賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ■…討論

―…議長 ※議長は賛否同数の場合のみ裁決を行います

議案名	議員名										審議結果
	佐藤 寧	柳原 浩之	金田 壽夫	遠藤 友宇子	溝田 昌志	嶋村 義文	福原 峯雄	長野 誠	橋詰 啓史		
【2月・第1回臨時】一般会計補正予算（第15号）※修正案	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	否決
【2月・第1回臨時】一般会計補正予算（第15号）	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	可決
【3月・第2回定例】R4各会計予算・関連議案（一括採決）	○	×	○	○	○	○	○	○	―	○	可決
【4月・第3回臨時】緊急質問（国保病院常勤内科医師の退職について）	○	×	×	×	欠	○	○	×	―	○	否決

【令和3年】12月

9～10日	第8回定例会開催
20日	全員協議会開催
22日	第18回議会活性化調査特別委員会開催

議 会 日 誌

【令和4年】1月

1日	令和4年雄武神社元旦祭出席、議長
9日	令和4年雄武町成人式出席、議長ほか1名
11日	第1回議会広報特別委員会開催
18日	第2回議会広報特別委員会開催
19日	第1回議会活性化調査特別委員会開催
24日	第3回議会広報特別委員会開催

2月

4日	第2回議会活性化調査特別委員会開催
7日	全員協議会開催
10日	議会運営委員会開催
//	議員協議会開催
14日	第1回臨時会開催
17日	第3回議会活性化調査特別委員会開催
27日	豊丘小学校閉校式出席、議長ほか8名
28日	総務文教常任委員会開催

3月

1日	雄武高等学校令和3年度卒業証書授与式出席、議長
2日	全員協議会開催
//	議会運営委員会開催

議会を傍聴してみませんか？

◎定例会
3・6・9・12月 年4回

◎臨時会
適時開催

◎日程確認
新聞折込チラシ
議会事務局ホームページ
事務局に連絡



【雄武町議会事務局】
代表 Tel: 0158(84)-2121

編集あとがき

山は春。行者ニンニク、タラの芽、ワラビにフキ。海も春。カニ、アサリ、ホタテ、ウニそしてタコにニシン。春は良いな。食欲の秋ならぬ春ですね。ホタテ稚貝の分散の船は漁火のように水平線上に輝いてこれも春の風物詩ですね。ゴミも春、雪の中から、特に道路脇から、ペットボトル、空き缶、そして袋ごとのゴミ。役場では、ゴミに関する質問を広報等で答えています。その中で特に黄色い袋に関して誤解をされておられる方が多いということです。「魔法の袋」という何を入れてもいい袋と思われがちですが、特に分別できるはずのプラスチック類が多く混入しているとのこと。分別をして資源へ。大人の行動は子どもが見ています。素敵な春へ、私たちの行動が自然へのお返しになるはず。議会としても「ゴミ問題」に関して、注視していきたいと考えています。

雪解けて

カッコウひと鳴き

種を蒔く(溝田)

議会広報特別委員会

委員長 溝田 昌志